

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ロングサポートLa・Nature		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数での活動の為、きめ細やかな支援ができていると思われる。	職員が常に見守る態勢を整えている。 個別活動は各自の特性をふまえた時間帯での活動ができる。	グループ活動のプログラムを立案し、社会性を身に付ける練習をしていく。 個別活動はそれぞれの特性に合ったプログラムを立案し実施していく。
2	看護師が複数常駐の為、医療的ケア(呼吸器等にも対応)ができる。	看護師も医療的ケアにこだわらず、保育士同様、児童の療育に参加している。	
3	療法士在籍の為、身体の取り組みができる。	療法士指導の下、他の職種の職員も体の取り組みができている。	「わらべ歌体操」や「からんころん体操」といった独自の体操がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	重心経験年数が少ない職員が複数いる。	外部の講演会、研修、交流会など、重心以外のものが多く、なかなか触れる機会がなかったと思われる。	定期的なミーティングや研修で各特性を知ることが必要だと思われる。
2	利用時間が短い	保育園などの長時間の預かり保育があるところに移行する児童が増えてきているように思われる。	重心という特性上、時間を長くすることは難しいが、それ以外に体の取り組みなどの付加価値があることを訴えていく。
3	給食がない。	日々の食事に悩んでいる保護者が多くいる様に思われる。	今現在は給食を用意することは難しいが、普通食のお弁当をペースト食に加工することは行っている。今後配食なども検討していきたい。